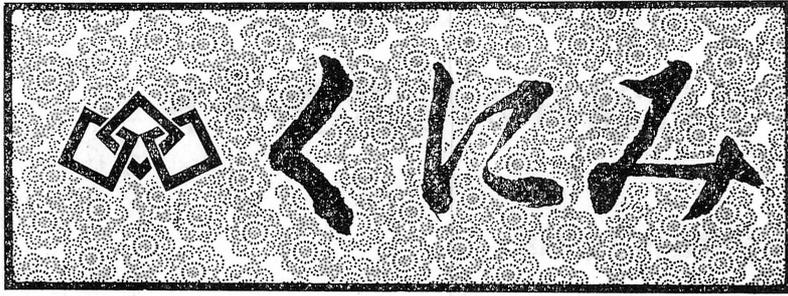


人口と世帯数	
男	5,883人
女	6,131人
計	12,014人
世帯数	2,690世帯
48.2.1 現在	



完成間近い町民体育館

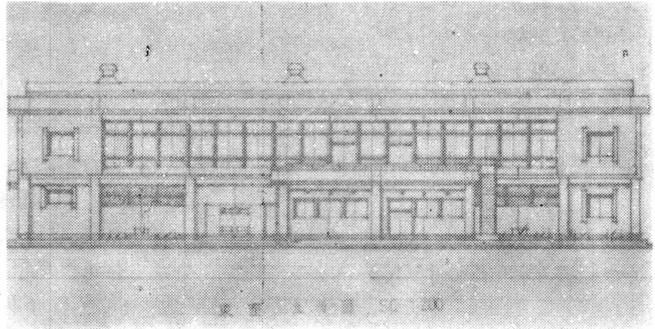
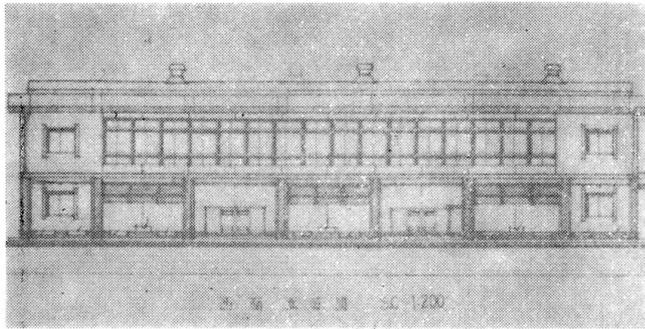
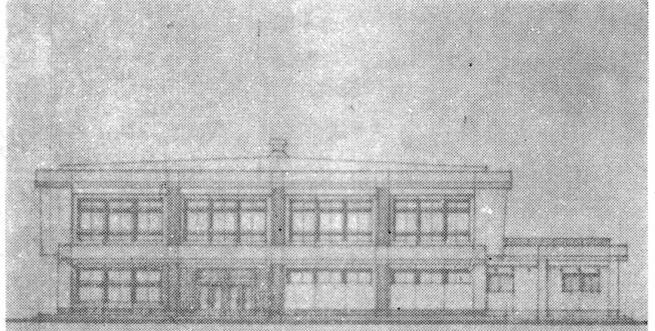
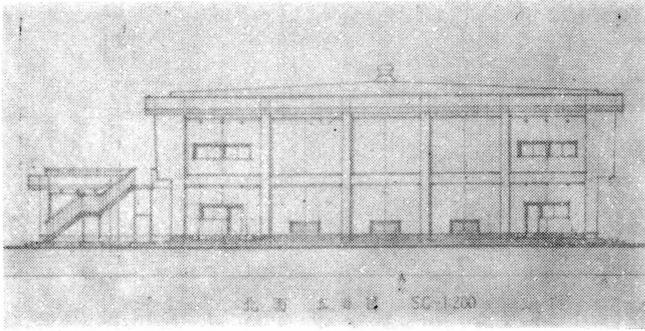


写真 上 北面立面図 右上南面立面図
下 西面立面図 右下東面立面図

この町民体育館は、バスケットコート一面、バレーコート二面、バトミントンコート六面がとれる八四〇㎡の体育室と八〇㎡のトレーニング場、五〇㎡のロビー、事務室、器具室、更衣室があり設備は、トランポリン、柔道用畳等も計画しております。

完成は三月二十日の予定ですが、その後にはバスケット板の取付、コートのライオン引き、ポールを立てる基礎金具の取付工事等がありますので実際の開館は五月初めになるものと思えます。町民皆様の体育館として運営等についてご意見、ご希望を公民館までお寄せください。

お忘れなく

町・県民税
所得税 の申告は
個人事業税

三月十五日まで

所得税の確定申告をされた方は町・県民税、個人事業税の申告書を提出する必要があります。

町・県民税の申告をされた方は個人事業税の申告書を提出する必要があります。

また、所得税の源泉徴収された税金や、予約納税をした税金が納め過ぎになっている方は、確定申告をすれば納め過ぎた税金が還付されます。

● 壮年の部を新設

― 町民卓球大会 ―

今年度は、男子壮年の部三十五才以上と女子壮年の部三十才以上を新設し、どなたでも参加できる大会を目ざして実施いたします。ふるって参加されますようお願いいたします。

お知らせいたします。

一、期日 二月二十五日(日)

二、場所 県北中体育館

三、試合要領

① 団体戦 地区、部落、同一団体、職場等で編成するチーム

(男子三名女子三名)

② 個人戦

○ 男子A級、B級

壮年の部(三十五才以上)

○ 女子A級、B級

壮年の部(三十才以上)

○ 男子ダブルス

女子ダブルス

四、申し込み

二月二十日まで電話または直接公民館(福祉センター)に申し込むこと。

樹氷原をすべろう

…… スキー教室 ……

● 三月四日(日)

① 天元台スキー場

② 会費一人一、〇〇〇円

③ 申し込み三月一日まで電話又は直接公民館に

④ 参加打ち合わせ会三月二日町民福祉センターで午後七時から行ないます。

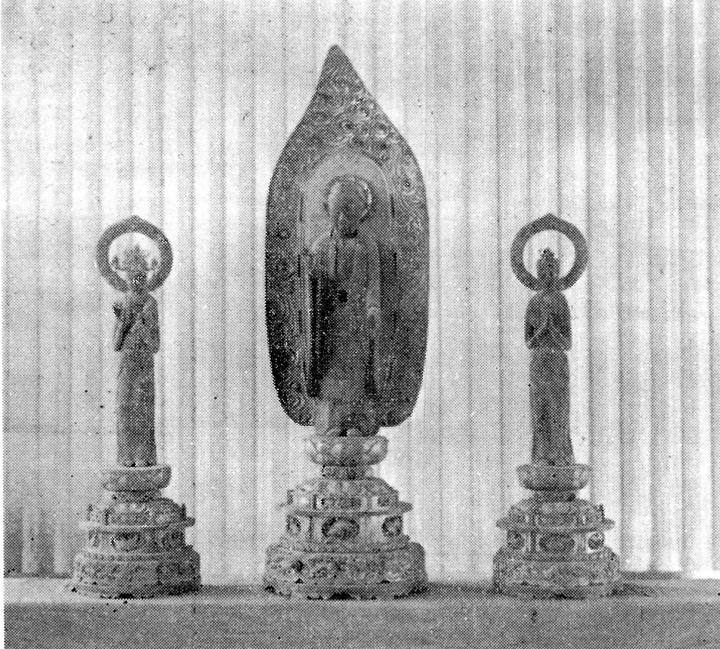
また県重要文化財あらわれる！

三常院(光明寺)に藤原仏

大字光明寺字鹿野に三常院という古堂がある。明治の初め頃までは法印某が住んでいたといわれる、がその後無住となるままに寺は荒れ、庫裡は壊滅し、本堂だけが残っている。最近は里人からも忘れられがちでわずかに福聚寺加藤万拙さんが節々の供養をしていたところがこの古堂にある。仏像が県北では珍しい平安末期のもので、福島市大蔵寺にある仏像(国重文)にも匹敵する貴重なものであることがわかり、地元の人をびっくりさせている。

町史編纂室では資料収集の一つとして町内にある仏像調査を進めているが、去る十二月八日、福大教授菊地貴晴、山木屋小学校長梅宮茂の両先生(共に県文化財専門委員)に依頼し、地元有志の協力をうけて調査した結果判ったもので、県の重要文化財に指定する価値充分との折紙をつけられた町史編纂室では早速これを町民福祉センターに移し応急修理を加え、写真をとります。昨年古民家につづいて二つ目の大ホームランと地元光明寺はもちろ

文化財関係者一同大喜びである。 仏像は三体あり、本尊阿彌陀如来は高さ約一メートル、脇侍(わきじ)としてわが町教育委員会で指定し、地元の方々も協力してこれを保護する予定であるが、なにしろ大蔵寺といえは会津の勝常寺、いわきの白水阿彌陀堂と並び称されている名刹であり、それに匹敵するとあつてはた



観音、勢至の両菩薩。塗りはすっかりはげ落ち、手足はこわれ、殊に焼け痕まであるいたいたしい姿であるが、一木作りのすらりとしたおだやかな平安仏の特徴をそなえた正に天下の逸品である。

始め本村高寺山に草庵を結び、慈覚大師作の阿彌陀如来を本尊としてしばらく練習していたが元慶年中(八七七-八八四)山火事のたぬ庵室が焼けたので現地にあった当寺に移し伝えた。以来当寺を高寺山と号したということになる。現在高

国民年金だより

あなたに損をしませんか

サラリーマンの奥さまであるあなたは、国民年金に加入するかしら自由ですか。しかしもし加入しては損をしないならば、あなたはどうか。加入したときはこんな利点があります。

例一 三才の子の母親であるA子さんは、国民年金に任意加入して一年後に夫を交通事故で亡くしました。

・夫の厚生年金から遺族年金(一〇五・六〇〇円)とともに、国民年金から母子年金が一〇〇・八〇〇円ももらえるようになりまし。A子さんの納めた保険料は六・六〇〇円だけでした。

例二 B子さんは買物の途中で交通事故にあい片足がブラブラのまじになり杖を使わないと歩けないようになりまし。

・国民年金に加入していたので、障害年金が一〇五・六〇〇円も

寺山の中腹に建物の跡がはつきりと残っている。尚、今回行った仏像調査の結果、川内仲興寺の観音菩薩は鎌倉時代、高城安養寺の薬師如来は南北朝期のもので、共にその時代の作風をあらわすすぐれた芸術品であることがわかった。

お悔み申し上げます
(二月中に亡くなられた方 敬称略す)

死亡日	氏名	年齢	住所
12月31日	古川 要吉	70	藤田 南59
1月13日	馬淵 勝美	72	藤田 北5
13日	馬淵 シノ	69	藤田 北5
15日	亀岡 ヨネ	52	徳江 高田9
16日	吉田 正雄	71	西大枝青木32
24日	村上つるよ	69	藤田 堤下11の4
25日	引地 タカ	76	徳江 館15

明治学級だより

一月の学習

平和太郎や青年の話

楽しい学習、ためになるレクリエーション……をモットーに、わが明治学級は寒中も休まず前進する。一月二十五日(木)夜来の雨もすっかりあがって大寒中というのにこの暖かさ、ほんとうに明治学級はめぐまれている。

東南アジアから濠州方面を旅行してきた。その模様は一月号「くにみ」に書いてあるが、それを百余枚のノライドを使って要領よく話してくれた。今どきの若い人はなかなかやるものだとみんな感心する。

定刻前十時、会場からはみ出した学級生は廊下まで並ぶ。熊田委員長開会を宣し直ちに学習に入る。石母田の青年佐藤秀世君のおみやげ話をきく。佐藤君は昨年十月十六日から十二月十四日まで約二か月間、第六回青年の船団員として



午後一時から清野市次先生の腹話術、可愛い人形平和太郎君から老人の心構えなど教えられ、又手ぎわよい奇術に大喜び、二時二十分から三時二十分まではみんなのかくし芸、詩吟、歌踊りなどつぎつぎと現われ本格的な学芸会になる。尚今年七〇歳になった学級生たちから「古稀祝い」として多大のご祝儀をいただいたので、みかんを買ってみんなに喜びをわかち、一部を卒業式?の経費にすることにした。

今月の学習

田村先生のお話と映画

今月は二十六日(月)

午前十時からいろいろの話し合い。午後は元藤田小学校長田村操先生のお話と映画で勉強する。

「上手な年のとり方」について老人の心構えなど先生独特のお話をきいたあと、ヨーロッパ旅行のおみやげ

町史の予約募集について

一月号「くにみ」で近く町史刊行のニュースを出したところ早速数十人の方から電話や郵便でお申込みがありました。いかに多くの方が、わが「ふるさと」の歴史の編纂を望んでいられることか、今更ながらこの仕事の意義の深さを感じたことでした。

さてまもなくPR誌ができ、本格的に予約募集の仕事が始まります。町民の皆様みんなのでつくった、みんなのための、みんなの歴史です。お家の宝として「各戸一部備え付け運動」を起そうではありませんか。町内はもちろん町外居住の方々にも自信をもってお勧めしましょう。

〇いよいよきれいな町史PR誌ができたら部落長さん

話をおききする。先生は昨年九月三十日から十月十六日まで全国退公連の団体に交ってヨーロッパ旅行をし、その模様をくわしく八ミリ映画に収めてこられた。その映画がすばらしくよくできていたので、全国的評判になってしまっ

た。こんどそれをつかってのおみやげ話だ。みんな大いに張り切っておいでください。(風食持参のこと)

んをとおしてお届けします。

〇内容をよくごらんの上、はさみ込んである「申込用紙」にはつきりとご記入ください。

〇全巻か、今回刊行ものだけかどちらかを消す

◎部数

◎住所、氏名

◎電話番号

〇全巻申し込んでおけばお互いに手数が省け、何かさんにつけ便宜です。

〇ご記入になったら部落長さん(又は代表者)にお届けください。

〇申込み締切り日は四月三十日、出版は十月初旬の予定です。

〇完成したら部落長さんをおしてお届けします。

〇代金引換えてお受取りく

だ。

あつかし俳句会(一月二十一日)

兼題「新年」「雑煮」

* 年新的青春未だ余燼あり

* 塞翁が馬の故事あり年あらた

* 長生きを祈ると書いてある賀状

* 此所に生き此所に老い来て年新た

* この春は分に過ぎたる鴨雑煮

* 新年やずるずる生きて夢もなし

* 新年の御慶を妻と交しけり

* 何もかも夢一すじに老の春

* 雑煮鍋困んで語る母のこと

* 新年の行事素直に明治人

* 子や孫と三部屋雑煮の家族かな

* 膝の塵払ふととるや雑煮はし

* 御明りに仏も笑まし初動行

* 新年のふるさとの山山らしき

* 初春の空に柳の枝光る

* 新年の誓も古りし床ばしら

* 背をまるめ木の葉髪なる雑煮箸

* 帰省せぬ子にもそなえん雑煮かな

* かくれえし女を見せる春着の娘

* 姑となりて雑煮椀一つ足しぬ

* 黒板に墨ぬり清め年迎ふ

* 雑煮炊くことより主婦の業はじめ

* 青菜刻み子ある幸せ雑煮炊く

早田 灰鳥

奥山 甲二

斎藤 黄鶴楼

一 陽

たか子

勝エ

正 雄

痴 仏

正 一

雨 田

葛 水

山 月

泰 山

絹 吐

夢 泉

亭 子

祥 子

はる子

えい

昭 子

か 子

秋 子

栄 子

子

だ。 弟ご親戚、お友達の方々に

一般頒布価格二五〇〇円 このPR誌をお届けくださ

町内頒布価格一五〇〇円 い。ご入用なだけ差し上げ

〇くわしいことは部落長さ ます。郵便料はご奮発くだ

んから申し上げます。 さい。

お名前と住所を紙に書い てお知らせください。こ

ちらからお届けします。 限定出版ですので、あと

で注文されては何とも処置 なしです。営利事業でない

ことなども添えてPRにご 協力ください。

す。あなたのお子様、ご兄